

## おの100と私

「就職活動にアピールできるように何か始めよう」

大学3年の春、こう考えてボランティアについて調べ、たまたま見つけたことが私のおの100との出逢いでした。不純でした。しかし、そんな私もおの100と出逢い、関わり続けて2年が経ち、今振り返ってみても、「おの100と出逢え、参加できて本当によかった」と心から感じています。

初めは、「就職活動のため」と考えていた私も、他大学の学生、意識の高い学生と出逢い、研修・本番にとどまらず、福岡会議・伊勢講習・支援塾等と、おの100と関わっていくうちに、自分も周りも想像しなかったほどに今ではおの100のことが大好きに、自分にとってかけがえのないものへと変わっていきました。

そして、50人程度の学生の中でも発表もできなかった私が、きっかけをいただいて、100人も社会人の方の前で発表することができ、自信を持てるようになりました。更に、子どもたちと触れ合い、人と関わる喜びを感じたことで、自分の進路に新たな選択肢を付け加えることができました。

「人は変わることができる」

おの100と出逢ったことで、自分が望み、努力をすれば可能であることを実感しました。

また、私にとっておの100とは、自分を見つめ直し、新たな自分を発見する場でもありました。5<sup>th</sup>-おの100では「班つきリーダー」として、ゴールの達成感、子どもたちの成長を間近でみられる喜びを感じ、大学にいるだけでは気づくことのできなかった「自分の可能性」に気づくことができました。一方、6<sup>th</sup>-おの100では「団長補佐」という立場で参加させていただき、人を動かすこと・想いを伝えることの難しさ、自分の甘さを痛感しました。歡喜の涙を流した前年とは打って変わり、自身の不甲斐なさから悔し涙を流す結果となってしまいました。しかし、6<sup>th</sup>に参加したことで「自分の課題」に気づくことができ、今後どうなりたいか、そのためにどう行動していけばいいかを改めて考えるきっかけとすることができました。

「子どもたちが100kmを歩き、それをサポートする」ということは毎年変わらなくても、立場や環境が変わることで、みえる景色・学ぶことは全く異なるものでした。私が5<sup>th</sup>と6<sup>th</sup>で学んだことは、どちらも欠かすことのできないものであり、自分の人生を選択し、今後も歩いていくにあたって、必要かつ重要なものでした。1回の参加に満足することなく、2回目も挑戦して本当に良かったと思っています。

そして、おの 100 を通して得た最大の宝もの。

それは、柿さんをはじめ、多くの学生ボランティアスタッフの皆さんとの出会い・絆です。意識が高く、「あの人のようになりたい」と目標にしたい人、手本としたい人が多く集まる環境に身をおくことができ、多くの刺激をいただきました。周りのみんなに負けじと、「成長」を意識しながら生活したことは未だかつてありませんでした。おの 100 に参加していなかったら、私の学生時代の友人は今の半分しかおらず、今の自分は存在していなかったでしょう。おの 100 を通して、いつもたくさんの元気と勇気をいただける友人に出会えたことをとても幸せに思います。このような宝ものを得るきっかけをつくってくださった、柿さん、ねえやん、おの 100 に関わってくださっている皆さん、すべてのものに心から感謝したいです。本当にありがとうございました！！

今後はおの 100 で学んだことをしっかり心に刻み、社会に出ても活躍していきたいと思えます。

最後に、参加を迷っておられる皆さんへ一言。

「日曜日がつぶれるのが嫌だ」、そんな理由で断念するのはもったいないです。

私ももっと早くおの 100 と出逢っていれば、と残念に思うくらいです。

まだ挑戦できるチャンスのある人は、是非、勇気を持って飛び込んでみてください！！

そうして、たすきが受け継がれ、おの 100 が発展し続けることを心より願っています。